

まちの未来を考える

希望あふれる人と地域が輝くまち



行政懇談会会場での主な意見

総務・企画部門

【防犯灯について】

Q 集落の外灯の維持費等について、旧町単位で取り扱いが違うが、今後どのように統一されるのか。

A 今年度中に検討を行い、他市町村がどのようにしているのか調査し、結果をお知らせします。

【企業誘致について】

Q 町では少子化対策や住民に対する奨励金を新設するなど努力されていますが、近隣の市町では企業進出が多いと思います。和水町ではなかなか企業進出が無いので町としてはどのような考え方で進めるのか。

4月14日(月)～24日(木)、町内7小学校校区毎に「和水町行政懇談会」が開催されました。全体で238人が参加され、これからの和水町をどのようにしていくのかを町長が報告し、その後住民の皆さんと懇談会を行いました。各会場からたくさんの方の活発な意見や質問をいただきました。各会場で寄せられたおよそ60の質問の中から、15の質問と回答を抜粋してお知らせします。

A 昨年より町内企業との懇談会を設けて情報交換を行っていきます。町内企業にはなるべく町内の方を採用してもらおうようにお願いしているところですが、地元の方はなかなか地元就職をしようとしにくいようです。企業進出においては候補地を決めたその年に開業というのが現状です。本町においてはそのような条件の整った土地がなく厳しい状況ですが、いくつかの土地を候補地として県に登録しています。今後も企業進出があるように進めていきます。

【定住施策について】

Q 若者等の定住促進と人口減少を抑えるために、どのような施策を考えているか。

A 定住促進策として、今年度から「新築住宅に対する固

定資産税の減免」や「新婚さん定住促進奨励金」を新設しました。また、平野地区に宅地造成を行い、来年度には分譲できるように計画しています。その他子育て支援策として、出生手当



▲平野宅地造成地

支給事業、乳幼児医療費助成事業、チャイルドシート購入助成事業、多子世帯児童の保育料無料化等を実施しています。

【空き家対策について】

Q 空き家の活用というのは何か方針を決められているのか。

A 昨年から空き家の把握を行っており、今後、法的な部分も含めて賃貸・売買ができるのか等の調査を行っていく必要があります。今後、先進地等を参考にし、町民の皆様のご理解をお願いしながら進めていきたいと思います。

福祉部門

Q 「後期高齢者医療事業について」

今年度予算において老人保険事業が約90%削減され、後期高齢者医療事業が予算化されているが、昨年の実績から大幅な減額となっている。これで事業ができるのか。

A 基本的に老人医療会計は無くなり、熊本県内の全市町村で組織する広域連合が事務処理をする後期高齢者医療事業に移行します。

【健康保険証のカード化について】

Q 健康保険証がカード型になり、お年寄りからは小さくなるので心配しているという声を聞く。

A カード型については、全国的にカード化する傾向があり、補助金等もあったことからカード型としました。また、後期高齢者受給者証もカード型となりますので、同じようにしました。

産業振興部門

【町の活性化について】

Q 町を活性化するには小さな視点より大きな視点に立った施策が必要と思う。今まで郷土に何もできなかったものでこれからは色々な事に参加しようと思っている。ただ、旧町間の融合ができていないように感じる。

A 財政問題、少子高齢化対策、生活圏の広がりに伴う組織効率化等に対処するために、交流の深かった2町による合併を行いました。旧菊水、旧三加和の感情を捨て、お互いを尊重しあっていくことで、町名のとおりに和んでいくのではないかと思います。

今後合併のメリットを生かしながら財政基盤を確立し、行財政改革も進めていく必要がありますが、それをできる限り住民サービスにつなげていきたいと思っています。商工会も合併して、「和水町商工会」となったわけですが、観光協会とも一緒になり、和水町の良さを町内外へ情報発信していきたいと思っています。

土木・建設部門

【道路改良について（板橋交差点）】

Q 板橋交差点改良の進捗状況について

A 板橋交差点については、平成20年3月に概要測量が終わり、現在交差点計画を作成中です。関係機関との調整が終わりましたら詳細測量及び用地買収等を進め、平成21年度末には工事着手できるのではないかと思います。

